

令和8年2月27日(作成)

**(参考)賃金改善のイメージについて**

賃上げ支援分について、賃金改善のいくつかのパターンを掲載しています。  
賃上げ支援分の申請にあたっての検討の参考としてください。

### [注意]

この資料は、交付要綱や資料作成時点で厚生労働省が示す情報をもとに、  
島根県が参考として作成するものです。

今後、追加の情報が示され次第、この資料も更新していく予定としています  
ので、定期的にご確認ください。

※ あくまで参考資料ですので、詳細は交付要綱等をご確認ください。

### [参考1]

賃上げ支援分は、令和8年6月1日時点で令和8年度診療報酬改定による見直し後のベースアップ評価料を届け出ることを誓約する島根県内に所在する薬局が対象です(要件の詳細は交付要綱などをご覧ください。)

給付金における「ベースアップ」とは、「基本給又は決まって毎月支払われる手当の引き上げ。」を指します(定期昇給は除く)。

給付金は、賃金水準や基本給の引き上げに伴い増加する法定福利費の事業主負担分にも充てることができます。

## [参考2]

このほか、「令和7年度 医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業に関するQ&A」にも、賃金改善に関するルールなどを掲載しています。

賃金改善の実施にあたっては、Q&Aもご確認いただくようお願いします。

## 例1 (12月～5月まで賃金改善に給付金を充てる場合)

対象職員5人につき、12月から、月5,000円／人の賃金改善を実施  
(所属する同一グループ内の薬局数が1店舗～5店舗以下である薬局の場合:給付金  
交付額14.5万円)

|        |                |              |              |              |              |              |              |
|--------|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|        | 5,000円<br>／人   | 5,000円<br>／人 | 5,000円<br>／人 | 5,000円<br>／人 | 5,000円<br>／人 | 5,000円<br>／人 | 5,000円<br>／人 |
|        | R7年11月末時点の賃金水準 |              |              |              |              |              |              |
| R7.11月 | 12月            | R8.1月        | 2月           | 3月           | 4月           | 5月           | 6月～          |

R8年6月以降も賃金改善の水準を維持 又は 拡大することが条件



### 【給付金を充てた額】

5,000円 × 6か月(12月～5月) × 5人 = 150,000円

→ 給付金の受領後、実績報告において、賃金改善の結果を報告

14.5万円(給付金) < 15万円(賃金改善)のため、給付金の返還は不要

## 例2（一時金等を支払う場合）

対象職員5人につき、4月から、月5,000円／人の賃金改善を実施  
加えて、3月に、12月～3月の4か月分相当の一時金等20,000円を支給  
(所属する同一グループ内の薬局数が1店舗～5店舗以下である薬局の場合:給付金  
交付額14.5万円)

|                |     |       |    |                       |              |              |              |
|----------------|-----|-------|----|-----------------------|--------------|--------------|--------------|
|                |     |       |    | 20,000円<br>／人<br>※一時金 | 5,000円<br>／人 | 5,000円<br>／人 | 5,000円<br>／人 |
|                |     |       |    | 5,000円×4か月分相当 →       |              |              |              |
| R7年11月末時点の賃金水準 |     |       |    |                       |              |              |              |
| R7.11月         | 12月 | R8.1月 | 2月 | 3月                    | 4月           | 5月           | 6月～          |

R8年6月以降も賃金改善の水準を維持 又は 拡大することが条件

### 【給付金を充てた額】

$$5,000円 \times 2か月(4・5月) \times 5人 + 20,000円 \times 5人 = \underline{150,000円}$$

→ 給付金の受領後、実績報告において、賃金改善の結果を報告

14.5万円(給付金) < 15万円(賃金改善)のため、給付金の返還は不要

【注意】一時金等で支給できるのは、12月～3月分の4月分について、令和8年3月までに支給する  
場合です。4・5月分は必ずベースアップが必要です。

### 例3（一時金等を支払う場合）

対象職員5人につき、4月から、月5,500円／人の賃金改善を実施  
 加えて、3月に、月4,500円×4か月分(18,000円)の一時金等を支給  
 (所属する同一グループ内の薬局数が1店舗～5店舗以下である薬局の場合:給付金  
 交付額14.5万円)

※Q&AのNo.15の○の3つ目のパターン

|                |     |       |    |    |                        |              |              |              |
|----------------|-----|-------|----|----|------------------------|--------------|--------------|--------------|
|                |     |       |    |    | 18,000円<br>／人<br>※一時金等 | 5,500円<br>／人 | 5,500円<br>／人 | 5,500円<br>／人 |
|                |     |       |    |    | 4,500円×4か月分相当 →        |              |              |              |
| R7年11月末時点の賃金水準 |     |       |    |    |                        |              |              |              |
| R7.11月         | 12月 | R8.1月 | 2月 | 3月 | 4月                     | 5月           | 6月～          |              |

R8年6月以降も賃金改善の水準を維持 又は 拡大することが条件

#### 【給付金を充てた額】

$$5,500円 \times 2か月(4・5月) \times 5人 + 18,000円 \times 5人 = \underline{145,000円}$$

→ 給付金の受領後、実績報告において、賃金改善の結果を報告

14.5万円(給付金)=14.5万円(賃金改善)のため、給付金の返還は不要

【注意】これは、一時金水準(4,500円) < ベア水準(5,500円)となるパターンですが、給付金の対象に認められます。ただし、両者の配分が極端な配分とならないよう、バランス良く配分してください。また、例2と同様に、令和8年3月までに支給することが必要です。

## 例4（一時金等を支払う場合）

対象職員5人につき、4月から、月4,000円／人の賃金改善を実施  
 加えて、3月に、月5,250円相当×4か月分(21,000円)の一時金を支給  
 (所属する同一グループ内の薬局数が1店舗～5店舗以下である薬局の場合:給付金  
 交付額14.5万円)

※Q&AのNo.15の○の3つ目のパターン

|                |     |       |    |                        |              |              |                                      |
|----------------|-----|-------|----|------------------------|--------------|--------------|--------------------------------------|
|                |     |       |    | 21,000円<br>／人<br>※一時金等 | 4,000円<br>／人 | 4,000円<br>／人 | 4,000円<br>／人                         |
|                |     |       |    | 5,250円×4か月分相当 →        |              |              |                                      |
| R7年11月末時点の賃金水準 |     |       |    |                        |              |              |                                      |
| R7.11月         | 12月 | R8.1月 | 2月 | 3月                     | 4月           | 5月           | 6月～                                  |
|                |     |       |    |                        |              |              | ↑<br>R8年6月以降も賃金改善の水準を維持 又は 拡大することが条件 |

### 【給付金を充てた額】

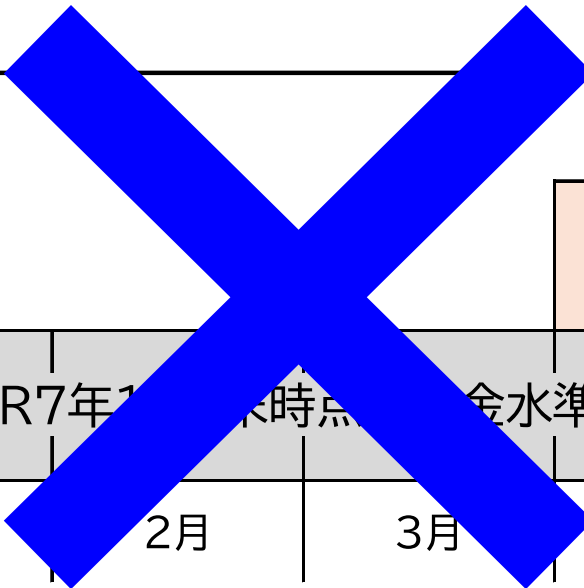
$$4,000円 \times 2か月(4・5月) \times 5人 + 21,000円 \times 5人 = 145,000円$$

14.5万円(給付金)=14.5万円(賃金改善)のため、給付金の返還は不要

【注意】これは、一時金水準(5,220円) > ベア水準(4,000円)となるパターンですが、給付金の対象となります。ただし、両者の配分が極端な配分とならないよう配分してください。また、例2と同様に、一時金等の場合、令和8年3月までに支給することが必要です。

## 例5(4月と5月だけ賃金改善する場合)【不可】

対象職員5人につき、4月から、月5,000円／人の賃金改善を実施  
(所属する同一グループ内の薬局数が1店舗～5店舗以下である薬局の場合:給付金  
交付額14.5万円)



| R7年12月31日時点賃金水準 |     |       |    |    | 5,000円<br>／人 | 5,000円<br>／人 | 5,000円<br>／人 |
|-----------------|-----|-------|----|----|--------------|--------------|--------------|
| R7.11月          | 12月 | R8.1月 | 2月 | 3月 | 4月           | 5月           | 6月～          |

R8年6月以降も賃金改善の水準を維持 又は 拡大することが条件

### 【給付金の対象に認められません】

このパターンでは、賃金改善は2か月間のみであり、交付要綱で定める、12月～5月の6か月間の賃金改善が行われていないため、給付金の対象には認められません。

給付金の対象とするには、例3～5のように、12月～3月の4か月分相当を一時金として支払うなどの対応が必要です。

## 例6 (R7.3月の賃金水準から、2%以上の賃金改善を行っている場合)

対象職員5人のR7年度に既に実施した賃金改善に充てる場合  
(所属する同一グループ内の薬局数が20店舗以上の薬局の場合:給付金交付額7万円)

|                              |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |
|------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
|                              | 2,500円<br>(1%部分)<br>※2%超過 | 2,500円<br>(1%部分)<br>※2%超過 | 2,500円<br>(1%部分)<br>※2%超過 | 2,500円<br>(1%部分)<br>※2%超過 | 2,500円<br>(1%部分)<br>※2%超過 | 2,500円<br>(1%部分)<br>※2%超過 | 2,500円<br>(1%部分)<br>※2%超過 | 2,500円<br>(1%部分)<br>※2%超過 | 2,500円<br>(1%部分)<br>※2%超過 |
|                              | 5,000円<br>(2%部分)          | 5,000円<br>(2%部分)          | 5,000円<br>(2%部分)          | 5,000円<br>(2%部分)          | 5,000円<br>(2%部分)          | 5,000円<br>(2%部分)          | 5,000円<br>(2%部分)          | 5,000円<br>(2%部分)          | 5,000円<br>(2%部分)          |
| R7年3月末<br>賃金水準<br>250,000円/月 |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |
| R7.3月                        | R7.4月~11月                 | 12月                       | R8.1月                     | 2月                        | 3月                        | 4月                        | 5月                        | 6月~                       |                           |

### 【給付金を充てることのできる部分】

R7.3月の賃金水準から、2%以上の賃金改善を行っている場合、2%を超える部分に充てることが可能

(例)R7.4月から、3%の賃金改善を実施(25万円×3%=7,500円/月)

2%を超える1%部分(2,500円/月)に充当可能

2,500円×6か月×5人=75,000円

7万円(給付金) < 7.5万円(賃金改善)  
のため、給付金の返還は不要

※ 余剰が生じる場合、更なる賃金改善に充てる必要があります。

- ここでの「賃金改善」とは、「令和7年12月から令和8年5月までのベースアップ+令和8年6月以降のベア水準の維持・拡大」など、交付要綱の別記1の6で定める賃金改善をいいます。
- なお、余剰分を使って更なる賃金改善を行うことができなかった場合、当該余剰分については、実績報告の上、返還いただくこととなりますので、ご注意ください。